

1:2 《》**預言者イザヤの書**にこのように書かれている。「見よ。わたしは、わたしの使いをあなたの前に遣わす。彼はあなたの道を**備える**。

《備える》{整えさせよう}

(TR)預言者たちの書

1:5 ユダヤ地方の全域とエルサレムの住民はみな、ヨハネのもとにやって来て、自分の罪を告白し、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた。

告白する = ◀ 1843. exomologeó (エクサモロゲオ) 10 回 ▶ 同意する、告白する、ほめたたえる

1:15 「時が満ち、神の国が近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

時 =

満ち = ◀ 4137. pléroó (プレラオ) 88 回 ▶ 成就する、いっぱいにする、完全に
する

1:19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を**繕っていた**。

繕っていた = ◀ 2675. Katartizó (カタルチゾ) 1 3 回 ▶ 完全に
する、準備する、一つに合わせる

マタイ 21:16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを**打ち立てられました**』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

マルコ 1:19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄

弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

ルカ 6:40 弟子は師以上の者ではありません。しかし、だれでも十分に訓練を受ければ、自分の師のようにはなります。

ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

Ⅱコリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。完全になりなさい。慰めを受けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

ガラ 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

Iテサ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを補うことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ヘブル 10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを備えてくださいました。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるもの

からできたのではないことを悟ります。

ヘブル 13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを**整え**、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

@ヤコブは当時すごく若かった（17歳）しかし初代教会の中心人物となった。

1:23 ちょうどそのとき、汚れた霊につかれた人がその会堂にいて、こう叫んだ。

@まず教会内で解放があった。

1:27 人々はみな驚いて、互いに論じ合った。「**これは何だ**。権威ある**新しい教えだ**。この方が汚れた霊にお命じになると、彼らは従うのだ。」

@これはどうだ ⇨ マナ（これはなんだ）（出16：15）

@新しい教え＝歴史上初の悪霊の追い出し

1:30 シモンの姑が熱を出して**横になっていた**(2621)ので、人々はさっそく、彼女のことをイエスに知らせた。

横になっていた＝◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回▶(大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

1:32 夕方になり日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人をみな、イエスのもとに連れて来た。

1:34 イエスは、様々な病気にかかっている多くの人を癒やされた。また、多くの悪霊を追い出し、悪霊どもがものを言うのをお許しにならなかった。彼らがイエスのことを知っていたからである。

癒やす= ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

@人の必要を満たす事は大切だが、御霊の導きはもっと大切である。

@その結果 (1:38) さあ」につながる

1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

1:37 彼を見つけ、「皆があなたを捜しています」と言った。

1:38 イエスは彼らに言われた。「さあ、近くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのために、わたしは出て来たのだから。」

マタイ 14:23 群衆を解散させてから、イエスは祈るために一人で山に登られた。夕方になっても一人でそこにおられた。

1:38 イエスは彼らに言われた。「さあ、近くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのために、わたしは出て来たのだから。」

1:40 さて、ツアラアトに冒された人がイエスのもとに来て、ひざまずいて懇願した。「お心一つで、私をきよくすることがおできになります。」

懇願した= ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

マタイ 8:2 すると見よ。ツアラアトに冒された人がみもとに来て、イエスに向かってひれ伏し、「主よ、お心一つで私をきよくすることがおできになります」と言った。

お心ひとつで=◀ 2309. Theló(セロー) 209 回▶ 願う、 そうする、
=あなたが願われるなら

人=(改 2)一人の人 =グループから離れて孤立している。
真理を求めて離れたのか
仲間はずれなのか
いずれにしても、チャンスである。

1:41 イエスは深くあわれみ、手を伸ばして彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われた。

あたしの心だ=◀ 2309. Theló(セロー) 209 回▶ 願う、 そうする、
= (ギ) 私はそれをしたい

マタ 8:3 イエスは手を伸ばして彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われた。すると、すぐに彼のツアラアトはきよめられた。

@@触るな←→触った

1:43 イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。

厳しく戒めて=◀ 1690. embrimaomai (エンブレマオマイ) 5 回▶怒りに動かされる、厳しく戒める

マタ 9:30 すると、彼らの目が開いた。イエスは彼らに厳しく命じて、「だれにも知られないように気をつけなさい」と言われた。

マル 1:43 イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。

マル 14:5 この香油なら、三百デナリ以上に売れて、貧しい人たちに施しができたのに。」そして、彼女を厳しく責めた。

ヨハ 11:33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になった。そして、霊に憤りを覚え、心を騒がせて、

ヨハ 11:38 イエスは再び心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。墓は洞穴で、石が置かれてふさがれていた。

@「心のうち」は補足

2:1 数日たって、イエスが再びカペナウムに来られると、家におられることが知れ渡った。

2:3 すると、人々が一人の中風の人を、みもとに連れて来た。彼は四人の人に担がれていた。

@四人の人①

2:4 彼らは群衆のためにイエスに近づくことができなかったので、イエスがおられるあたりの屋根をはがし、穴を開けて、中風の人が寝ている(2621)寝床をつり降ろした。

寝ている = ◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回 ▶ (大)横になる、寝ている、

(小)食卓に着く

@屋根をはがし②、つり降ろした③

@ ① 一致

② 執拗

③ 責任を負いあう (他の人のアイデアであっても)

2:5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。

@@とがめよ←→信仰を見た

2:8 彼らが心のうちでこのようにあれこれと考えているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんなことを考えているのか。

2:9 中風の人に『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。

@癒しはもっと難しい。しかしキリストはそれをして、罪の赦しの権威があることを示された。

2:10 しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために——。」そう言って、中風の人に言われた。

2:11 「あなたに言う。起きなさい。寝床を担いで、家に帰りなさい。」

2:12 すると彼は立ち上がり、すぐに寝床を担ぎ、皆の前を出て行った。それで皆は驚き、「こんなことは、いまだかつて見たことがない」と言って神をあがめた。

あがめた = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほ

めたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

2:15 それからイエスは、レビの家で食卓に着かれた(2621)。取税人たちや罪人たちも大勢、イエスや弟子たちとともに食卓に着いていた(4873)。大勢の人々がいて、イエスに従っていたのである。

食卓に着かれた=◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回▶(大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

食卓に着いていた=◀ 4873. sunanakeimai (スナナケイマイ) 7回▶食卓に着く、列席する(マタ 14:9)

2:17 これを聞いて、イエスは彼らにこう言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人です。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためです。」

@ (マタイ 9 : 1 2)

3:2 人々は、イエスがこの人を安息日に治すかどうか、じっと見ていた。イエスを訴えるためであった。

治す=◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43回▶癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

@読み替え

3:2 Jehova's Witnessは、Christianが do blood transfusion to himかどうか、じっと見ていた。Christianを訴えるためであった。3:3Christianは those need to be blood transfusionに、「立って、真中に出なさい。」と言われた。3:4 それから Jehova's Witnessに、「安息日にしてよいのは、善を行なうことなのか、それとも悪を行なうことなのか。いのちを救うことなのか、それとも殺すことなのか。」と言われた。Jehova's Witnessは黙っていた。3:5 Christian

は怒って Jehova's Wittness らを見回し、その心のかたくななのを嘆きながら、その人に、「手を伸ばしなさい。」と言われた。彼は手を伸ばした。He did blood transfusion.すると he was heeled になった。3:6 そこで Jehova's Wittness たちは出て行って、すぐにヘロデ党の者たちといっしょになって、Christian をどうして葬り去ろうかと相談を始めた。

@@いやすな←→いやした

3:10

癒やす= ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43 回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

3:14 イエスは十二人を任命し、彼らを使徒と呼ばれた。それは、彼らをご自分のそばに置くため、また彼らを遣わして宣教をさせ、

任命し= ◀ 4160. Poieó (ポイエオ) 572 回 ▶ 作る、する、生み出す

@任命された= (任命というほど強い言葉ではない)

@彼らを使徒と呼ばれた。=この言葉は TR、KJV には無い (この言葉は(改2)にはない)

3:17 ゼベダイの子ヤコブと、ヤコブの兄弟ヨハネ、この二人にはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

@雷の子=反抗、高慢、軽々しい

3:21 これを聞いて、イエスの身内の者たちはイエスを連れ戻しに出かけた。人々が「イエスはおかしくなった」と言っていたからである。

連れ戻しに= ◀ 2902. Krateó (クラテイオ) 4 7 回 ▶ 強い、治める、支配する、とどめる

= (共) 取り押さえる

3:26 もし、サタンが自らに敵対して立ち、分裂したら、立ち行かずに滅んでしまいます。

@つまりサタンの王国は（今のところ）栄えているので。彼らは裏の世界で一致している。

3:35 だれでも神のみこころを行う人、その人がわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」

4:10 さて、イエスだけになったとき、イエスの周りにいた人たちが、十二人とともに、これらのたとえのことを尋ねた。

周りにいた=いつもつき従っている ×

@ 1 2 弟子以外にも、弟子たちがいた。

4:15 道端に蒔かれたものとは、こういう人たちのことです。みことばが蒔かれて彼らが聞くと、すぐにサタンが来て、彼らに蒔かれたみことばを取り去ります。

@サタンによる障害

4:16 岩地に蒔かれたものとは、こういう人たちのことです。みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れますが、

4:17 自分の中に根がなく、しばらく続くだけです。後で、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。

@肉による障害

4:18 もう一つの、茨の中に蒔かれたものとは、こういう人たちのことです。みことばを聞いたのに、

4:19 この世の思い煩いや、富の惑わし、そのほかいろいろな欲望が入り込んでみことばをふさぐので、実を結ぶことができません。

@ 世による障害

4:26 またイエスは言われた。「神の国はこのようなものです。人が地に種を蒔くと、

4:27 夜昼、寝たり起きたりしているうちに種は芽を出して育ちますが、どのようにしてそうなるのか、その人は知りません。

寝たり = ◀ 2518. katheudó(カスド) 22 回 ▶

@ 私達は知らない

@ そうこうしているうちに」という言葉は原語にはない

4:31 それはからし種のようなものです。地に蒔かれるときは、地の上のどんな種よりも小さいのですが、

4:39 イエスは起き上がって風を叱りつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると風はやみ、すっかり凧になった。

@ 「凧(なぎ)」 = 問題が起こる以前より静か。 = 問題が起こるのは状況をよりよくするため

4:40 イエスは彼らに言われた。「どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。」、

。

@ 信仰がないのは = (ギ) **still not have you faith?** ○

(RV) 私を信じられないのですか ×

5:1 こうして一行は、湖の向こう岸、ゲラサ人の地に着いた。

@ゲラサ人=(マタイ8:28)ではガダラ人

5:5 それで、夜も昼も墓場や山で叫び続け、石で自分のからだを傷つけていたのである。

@enajenado の状態

@ @関わった←→関わるな

5:6 彼は遠くからイエスを見つけ、走って来て拝した。

◀ 4352. proskuneó (プロスクネーオ) 60回 ▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する

5:17 すると人々はイエスに、この地方から出て行ってほしいと懇願した。

@ @関わるな←→関わった

5:19 しかし、イエスはお許しにならず、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰りなさい。そして、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを知らせなさい。」

家族のところ_に帰りなさい=家族に遣わされた

5:20 それで彼は立ち去り、イエスが自分にどれほど大きなことをしてくださったかを、デカポリス地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた。

◀ 1179. Dekapolis ▶ = ◀ 1176. deka ▶ 「十」 + ◀ 4172. polis ▶ 「街」

@デカポリス = (ギ) 10の町々

5:28 「あの方の衣にでも触れれば、私は救われる」と思っていたからである。

@あの方の衣にでも触れれば、私は救われる＝これから起こる事を Visualizar
していた

5:29 すると、すぐに血の源が乾いて、病気が癒やされたことをからだに感じ
た。

癒す＝◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶癒す 肉体の癒し

5:31 すると弟子たちはイエスに言った。「ご覧のとおり、群衆があなたに押し
迫っています。それでも『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃるのです
か。」

第2列王記

4:27 それから彼女は山の上にいる神の人のところに来て、彼の足に
すがりついた。ゲハジが彼女を追い払おうと近寄ると、神の人は言っ
た。「そのままにしておきなさい。彼女の心に悩みがあるのだから。
【主】はそれを私に隠し、まだ私に知らせておられないのだ。」

@@わかるものか←→わかるはずだ

@@わからんのか←→わからない

5:42 すると、少女はすぐに起き上がり、歩き始めた。彼女は十二歳であった。
それを見るや、人々は口もきけないほどに驚いた。

驚いた＝◀ 1611. Ekstasis (エクスタシス) 7回▶

驚いた (マルコ 5:42) (使徒 3:10) 驚くべき(ルカ 5:26) 、夢心地にな
る(使徒 10:10)

気も動転する(マルコ 16:8)

一般的な「驚く」 ◀ 2296. thaumazó (サウマゾ) 44 回 ▶ とは異なる

5:41 そして、子どもの 手を取って 言われた。「タリタ、クム。」訳すと、「少女よ、あなたに言う。起きなさい」という意味である。

6:3 この人は大工ではないか。マリアの子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄ではないか。その妹たちも、ここで私たちと一緒にいるではないか。」こうして彼らはイエスにつまずいた。

6:5 それで、何人かの病人に手を置いて癒やされたほかは、そこでは、何も力あるわざを行うことができなかった。癒やす = ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43 回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える (Acts 17:25)

6:6 イエスは彼らの 不信仰に驚かれた。それからイエスは、近くの村々を巡って教えられた。

@信仰に驚いた

ルカ 7:9 イエスはこれを聞いて驚き、振り向いて、ついて来ていた群衆に言われた。「あなたがたに言いますが、わたしはイスラエルのうちでも、これほどの信仰を見たことはありません。」

@不信仰に驚いた

イザヤ 59:16 主は人がいないのを見て、とりなす者がいないことに 啞然とされた。それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。

6:7 また、十二人を呼び、二人ずつ遣わし始めて、彼らに汚れた霊を制する権威をお授けになった。

6:12 こうして十二人は出て行って、人々が悔い改めるように宣べ伝え、

6:13 多くの悪霊を追い出し、油を塗って多くの病人を癒やした。

癒やす= ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43 回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

@イエスも癒しの為に油を使われた

6:22 ヘロディアの娘が入って来て踊りを踊り、ヘロデや列席の(4873)人々を喜ばせた。そこで王は少女に、「何でも欲しい物を求めなさい。おまえにあげよう」と言った。

列席の= ◀ 4873. sunanakeimai (スナナケイマイ) 7 回 ▶ 食卓に着く、列席する(マタ 14:9)

6:26 王は非常に心を痛めたが、自分が誓ったことであり、列席の(345)人たちの手前もあって、少女の願いを退けたくなかった。

列席の= ◀ 345. anakeimai (アナケマイ) 14 回 ▶ 食卓に着く、←の意味で横になる(ヨハ 13:23)

6:30 さて、使徒たちはイエスのもとに集まり、自分たちがしたこと、教えたことを、残らずイエスに報告した。

@遣わされた後には報告する必要がある。

6:31 するとイエスは彼らに言われた。「さあ、あなたがただけで、寂しいところへ行って、しばらく休みなさい。」出入りする人が多くて、食事をする時間さえなかったからである。

@休息は必要である。

6:34 イエスは舟から上がって、大勢の群衆をご覧になった。彼らが羊飼いのいない羊の群れのようであったので、イエスは彼らを深くあわれみ、多くのことを教え始められた。

6:36 皆を解散させてください。そうすれば、周りの里や村に行って、自分たちで食べる物を買うことができるでしょう。」

@実地的な解決論」

6:39 するとイエスは、皆を組に分けて青草の上に座らせるように、弟子たちに命じられた。

座らせ= ◀ 347. anaklinó (アナクリノ) 6回 ▶ 横たえる、寝転がる。食卓に着く(改4) マタ 8:11、ルカ 12:37、13:29)

マタ 8:11 あなたがたに言いますが、多くの人が東からも西からも来て、天の御国でアブラハム、イサク、ヤコブと一緒に食卓に着きます。

マタ 14:19 そして、群衆に草の上に座るように命じられた。それからイエスは、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて神をほめたたえ、パンを裂いて弟子たちにお与えになったので、弟子たちは群衆に配った。

マルコ 6:39 するとイエスは、皆を組に分けて青草の上に座らせるように、弟子たちに命じられた。

ルカ 2:7 男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。

ルカ 12:37 帰って来た主人に、目を覚ましているのを見てもらえるしもべたちは幸いです。まことに、あなたがたに言います。主人のほ

うが帯を締め、そのしもべたちを食卓に着かせ、そばに来て給仕してくれませう。

ルカ 13:29 人々が東からも西からも、また南からも北からも来て、神の国で食卓に着きます。

6:40 人々は、百人ずつ、あるいは五十人ずつまとまって座った。

座る＝これは「食事の姿勢をとるように」という意味でもある。給食以外での使用は最後の晩餐のみ。

座る＝◀ 377. anapíptó (アナペット) 12回▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

6:41 イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて神をほめたたえ、パンを裂き、そして人々に配るように弟子たちにお与えになった。また、二匹の魚も皆に分けられた。

@弟子の手の中で増えた。

@ (共) 6:41 イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、弟子たちに渡しては配らせ、二匹の魚も皆に分配された。

マル 6:43 そして、パン切れを十二のかごいっぱいに集め、魚の残りも集めた。

いっぱい＝◀ 4138. pléróma (プレイロマ) 18回▶ (N) 満たし、
継ぎ切れ(欠けを満たすもの)(マタ 9:16)、いっぱい(マルコ 6:43)
満ち満ちた豊かさ(ヨハネ 1:16)、要求を満たす(ロマ 13:10)、満ち溢れて(ロマ 15:29)

マタ 9:16 だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしま

せん。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどくなるから
です。

マル 6:43 そして、パン切れを十二のかごいっぱいに集め、魚の残り
も集めた。

ヨハ 1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵み
の上にさらに恵みを受けた。

ロマ 11:12 彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富
となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばらしいもの
をもたらすことでしょう。

ロマ 13:10 愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は律法
の要求を満たすものです。

ロマ 15:29 あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満
ちあふれて行くことになると分かっています。

6:45 それからすぐに、イエスは弟子たちを無理やり舟に乗り込ませ、向こう
岸のベツサイダに先に行かせて、その間に、ご自分は群衆を解散させておられ
た。

無理やり＝つまりこの旅行は神に導かれた御心のもの

6:46 そして彼らに別れを告げると、祈るために山に向かわれた。

6:48 イエスは、弟子たちが向かい風のために漕ぎあぐねているのを見て、夜
明けが近づいたころ、湖の上を歩いて彼らのところへ行かれた。そばを通り過
ぎるおつもりであった。

- @ 1、強いて =弟子が船に乗る事は御心であった。
2、向かい風 =それでも抵抗があった。

6:51 そして、彼らのいる舟に乗り込まれると、風はやんだ。弟子たちは心の中で非常に驚いた。

6:52 彼らはパンのことを理解せず、その心が頑なになっていたからである。

@つまり、パンのレッスンから学んでいない。

@パンの増殖は授業であり、嵐はテストであった

6:53 それから、彼らは湖を渡ってゲネサレの地に着き、舟をつないだ。

@かつては抵抗のあった地だが（5：1）で解放した人の証言によって人々は整えられていた。

@（？）ゲラサとゲネサレは同じ意味か？

6:56 村でも町でも里でも、イエスが入って行かれると、人々は病人たちを広場に寝かせ、せめて、衣の房にでもさわらせてやってくださいと懇願した。

そして、さわった人たちはみな癒やされた。

寝かせ= ◀ 5087. tithémi (ティセミ) 100回 ▶置く、確立させる

@@このときはみんなに信仰があったのでみな癒された。（信仰のとおりになった）

7:1 さて、パリサイ人たちと、エルサレムから来た何人かの律法学者たちが、イエスのもとに集まった。

@調査に来ていた

7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。』

礼拝する = ◀ 4576. sebo (セボー) 10 回 ▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

@ヘブライ語で「恐れる」をこの単語に訳している

(イザ 29:13 主は言われた。「それは、この民が口先でわたしに近づき、唇でわたしを敬いながら、その心がわたしから遠く離れているからだ。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれてのことである。

恐れるのは = ◀ 3373. yare (ヤレ) 55 回 ▶ (A) 恐れる、恐れおおい

7:21 内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人。

7:22 姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで Bible HUB では「姦淫」は 21 節に含まれている。

姦淫 = ◀ 3430. moicheia (3 回) ▶ (N) 姦淫

淫らな行い = ◀ 4202. porneia (25 回) ▶ (N) 不品行

7:24 イエスは立ち上がり、そこからツロの地方へ行かれた。家に入って、だれにも知られたくないと思っておられたが、隠れていることはできなかった。

7:25 ある女の人が、すぐにイエスのことを聞き、やって来てその足もとにひれ伏した。彼女の幼い娘は、汚れた霊につかれていた。

@聞きつけてすぐにやって来て = 聞いてすぐに信じた。

7:32 人々は、耳が聞こえず口のきけない人を連れて来て、彼の上に^手を置いて^てくださいと懇願した。

7:33 そこで、イエスはその人だけを群衆の中から連れ出し、ご自分の指を彼の両耳に入れ、それから唾を付けてその舌にさわられた。

@@手を置いて←→耳に指入れ、舌につば

@主の方法はわれわれの方法とは異なる

7:34 そして天を見上げ、^{深く息をして}、その人に「エパタ」、すなわち「開け」と言われた。

深く息をして=◀ 4727. Stenazó (ステナヅ) 6回▶ うめく

元々の言葉は◀ 4728. Stenos(ステナース) 3回▶狭い (マタ 7:13)(マタ 7:14)(ルカ 13:24)

マタ 7:13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。

マタ 7:14 いのちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。

ルカ 13:24 「狭い門から入るように努めなさい。あなたがたに言いますが、多くの人が、入ろうとしても入れなくなるからです。

8:1 そのころ、再び大勢の群衆が集まっていた。食べる物がなかったので、イエスは弟子たちを呼んで言われた。

@ここはデカポリス (異邦人の地) と思われる

8:6 すると、イエスは群衆に地面に座るように命じられた。それから七つのパンを取り、感謝の祈りをささげてからそれを裂き、配るようにと弟子たちにお与えになった。弟子たちはそれを群衆に配った。

@対照的である、(8:6) 感謝を捧げた = (8:16) 議論していた

座る = これは「食事の姿勢をとるように」という意味でもある。給食以外での使用は最後の晩餐のみ。

座る = ◀ 377. *anapíptó* (アナペット) 12回 ▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

8:12 イエスは、心の中で深くため息をついて、こう言われた。「この時代はなぜ、しるしを求めめるのか。まことに、あなたがたに言います。今の時代には、どんなしるしも与えられません。」

深くため息をついて = ◀ 389. *Anastenazó* (アナステナヅ) 1回 ▶ うめく、深くため息をつく

(改2) 嘆息する

◀ 303. *Ana* (アナ) 13回 ▶ ~の中(ただなか)、間で + 「◀ 4727. *Stenazó*(ステナヅ) 6回 ▶ うめく」

元々の言葉は ◀ 4727. *Stenazó* (ステナヅ) 6回 ▶ うめく、深く息をする、うめく

マルコ 7:34 そして天を見上げ、深く息をして、その人に「エパタ」、すなわち「開け」と言われた。

元々の言葉は ◀ 4728. *Stenos*(ステナース) 3回 ▶ 狭い
(マタ 7:13)(マタ 7:14)(ルカ 13:24)

マタ 7:13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は

広く、そこから入って行く者が多いのです。

マタ 7:14 いのちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。

ルカ 13:24 「狭い門から入るように努めなさい。あなたがたに言いますが、多くの人が、入ろうとしても入れなくなるからです。

ローマ 8 章 2 6 節は別の単語、 ◀ 4726. Stenagmos (ステナグモース) 2回 ▶ うめく

使 7:34 わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみを確かに見た。また彼らのうめきを聞いた。だから、彼らを救い出すために下って来たのだ。今、行け。わたしは、あなたをエジプトに遣わす。』

ロマ 8:26 同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださいるのです。

8:14 弟子たちは、パンを持って来るのを忘れ、一つのパンのほかは、舟の中に持ち合わせがなかった。

@ 忘れた、一つしかない

@ ひとつのパン = 前日からの忘れ物は悪いものである

@ 対照的である、(8:6) 感謝を捧げた = (8:16) 議論していた

8:15 そのとき、イエスは彼らに命じられた。「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種には、くれぐれも気をつけなさい。」

8:16 すると弟子たちは、自分たちがパンを持っていないことについて、互い

に議論し始めた。

8:22 彼らはベツサイダに着いた。すると人々が目の見えない人を連れて来て、彼にさわってくださいとイエスに懇願した。

8:23 イエスは、その人の手を取って村の外に連れて行かれた。そして彼の両目に唾をつけ、その上に両手を当てて、「何か見えますか」と聞かれた。

@@さわってほしい←→両目につば、
@触るように頼まれたがつばをつけた。

8:33 しかし、イエスは振り向いて弟子たちを見ながら、ペテロを叱って言われた。「下がれ、サタン。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

弟子たちを見ながら=(マタ 16:23)には無い言葉

8:35 自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音のためにいのちを失う者は、それを救うのです。

8:36 人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。

9:1 またイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。ここに立っている人たちの中には、神の国が力をもって到来しているのを見るまで、決して死を味わわない人たちがいます。」

@この言葉ゆえに勘違いがあつた。

(ヨハネ 21:23) ヨハ 21:23 それで、その弟子は死なないという話が兄弟たちの間に広まった。しかし、イエスはペテロに、その弟子は死なないと言われたのではなく、「わたしが来るときまで彼が生きる

ように、わたしが望んだとしても、あなたに何の関わりがありますか」
と言われたのである。

9:2 それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に登られた。すると、彼らの目の前でその御姿が変わった。

9:4 また、**エリヤ**が**モーセ**とともに彼らの前に現れ、イエスと語り合っていた。

@預言者（エリヤ）と律法（モーセ）どちらも土台

ルカ 24:27 それからイエスは、モーセやすべての預言者たちから始めて、ご自分について聖書全体に書いてあることを彼らに説き明かされた。

エペ 2:20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。

9:5 ペテロがイエスに言った。「先生。私たちがここにいることは素晴らしいことです。幕屋を三つ造りましょう。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

@口出しして

@ペテロはその声を自分自身で聞いた。

（2ペテ 1:17）II ペテ 1:17 この方が父なる神から誉れと栄光を受けられたとき、厳かな栄光の中から、このような御声がありました。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」

9:14 さて、彼らがほかの弟子たちのところに戻ると、大勢の群衆がその弟子たちを囲んで、律法学者たちが彼らと**論じ合っている**のが見えた。

@論じ合っている中では御力は現れない

9:18 その霊が息子に取りつくところかまわず倒します。息子は泡を吹き、歯ぎしりして、からだをこわばらせます。それであなたのお弟子たちに、霊を追い出してくださいとお願いしたのですが、できませんでした。」

@出来なかった

9:19 イエスは彼らに言われた。「ああ、不信仰な時代だ。いつまで、わたしはあなたがたと一緒にいなければならないのか。いつまで、あなたがたに我慢しなければならないのか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」

@ (民数民 14:11 【主】はモーセに言われた。「この民はいつまでわたしを侮るのか。わたしがこの民の間で行ったすべてのしるしにもかかわらず、いつまでわたしを信じようとしぬのか。」

9:21 イエスは父親にお尋ねになった。「この子にこのようなことが起こるようになってから、どのくらいたちますか。」父親は答えた。「幼い時からです。」

@カウンセリングによる解放

マル 9:23 イエスは言われた。「できるなら、と言うのですか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」

第2コリント 13:8 私たちは、真理に逆らっては何もすることができませんが、真理のためならできます。

@@ できない↔できる
信じない↔信じる

9:29 すると、イエスは言われた。「この種のもは、祈りによらなければ、何によっても追い出すことができません。」

注釈には「後代の写本には『祈りと断食』を加える」とあるが、その写本とはTRのことです。

(改2)のマタイ 17:21 では「ただし、この種のもは、祈りと断食によらなければ出て行きません。」とあるが、(改4)では省略されてしまった。

@ 祈り + 断食 = 訓練

9:32 しかし、弟子たちにはこのことばが理解できなかった。また、イエスに尋ねるのを恐れていた。

@ 十字架についてはなんども話されていたにも関わらず

9:38 ヨハネがイエスに言った。「先生。あなたの名によって 悪霊を追い出している人を見たので、やめさせようと思いました。その人が私たちについて来なかったからです。」

@ 悪霊を追い出している者 = 信者 (弟子ではなくても信じていれば追い出せる)

9:42 また、わたしを信じるこの小さい者たちの一人をつまずかせる者は、むしろ、大きな石臼を首に結び付けられて、海に投げ込まれてしまうほうがよいのです。

@ 小さい者 = 信仰の弱いクリスチャン

9:43 もし、あなたの手があなたをつまずかせるなら、それを切り捨てなさい。両手がそろっていて、ゲヘナに、その消えない火の中に落ちるより、片手でいのちに入るほうがよいのです。

9:44 【本節欠如】

9:45 もし、**あなたの足が**あなたをつまずかせるなら、それを切り捨てなさい。両足がそろっていてゲヘナに投げ込まれるより、片足でいのちに入るほうがよいのです。

9:46 【本節欠如】

9:47 もし、**あなたの目が**あなたをつまずかせるなら、それをえぐり出さなさい。両目がそろっていてゲヘナに投げ込まれるより、片目で神の国に入るほうがよいのです。

@ 1、する事 2、歩み 3、見る事によって運命は決まってしまう。

@プラス「舌」

9:48 ゲヘナでは、彼らを食らううじ虫が尽きることがなく、火も消えることはありません。

9:49 人はみな、火によって塩気をつけられます。

9:50 塩は良いものです。しかし、塩に塩気がなくなったら、あなたがたは何によってそれに味をつけるのでしょうか。あなたがたは自分自身のうちに塩気を保ち、互いに平和に過ごしなさい。」

10:6 しかし、**創造のはじめから**、神は彼らを男と女に造られました。

@創造の初めから＝モーセより先に

。

10:11 イエスは彼らに言われた。「だれでも、自分の妻を離縁し、別の女を妻にする者は、妻に対して姦淫を犯すのです。

マタ 19:9 あなたがたに言います。だれでも、淫らな行い以外の理由で自分の妻を離縁し、別の女を妻とする者は、姦淫を犯すことになるのです。」

10:14 イエスはそれを見て、憤って弟子たちに言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。邪魔してはいけません。神の国はこのような者たちのものなのです。

10:16 そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。

@抱き続けた、置き続けたという解釈の根拠は不明

抱く = ε ν α γ κ α λ ι σ α μ ε ν ο ς エナンカリサメノス 腕に抱いた
[者は] 動詞・アオリスト・中間デポネント・分詞・主格・単数・男性

置く = τ ι θ ε ι ς ティセイス 置いた[者は] 動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性

10:18 イエスは彼に言われた。「なぜ、わたしを『良い』と言うのですか。良
い方は神おひとりのほか、だれもいません。

@ 1、イエスは原則的な事を教えられた。(人としてのキリスト) (マタイ 9:6) 人の子

2、私を尊いと呼ぶなら私は確かに神である。

10:19 戒めはあなたも知っているはずです。『殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽りの証言をしてはならない。だまし取ってはならない。あなたの父と母を敬え。』

10:20 その人はイエスに言った。「先生。私は少年のころから、それらすべてを守ってきました。」

10:21 イエスは彼を見つめ、いつくしんで言われた。「あなたに欠けていることが一つあります。帰って、あなたが持っている物をすべて売り払い、貧しい

人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」

いつくしんで= ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

@いつくしんで= (NIV) Loved

@ (マタイ 19 : 21 ルカ 18 : 22) にも記載があるが「いつくしんで」が抜けている。

10:24 弟子たちはイエスのことばに驚いた。しかし、イエスは重ねて彼らに言われた。「子たちよ。@ 神の国に入ることは、なんと難しいことでしょう。

@部分に (TR) では「富に頼るものが」を挿入

@ルカとマルコでは TR 版との違いはない。

マタ 19:23 そこで、イエスは弟子たちに言われた。「まことに、あなたがたに言います。金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。

ルカ 18:24 イエスは彼が非常に悲しんだのを見て、こう言われた。「富を持つ者が神の国に入るのは、なんと難しいことでしょう。

10:25 金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通るほうが易しいのです。」

10:26 弟子たちは、ますます驚いて互いに言った。「それでは、だれが救われることができるでしょう。」

10:27 イエスは彼らを じっと見て言われた。「それは人にはできないことです。しかし、神は違います。神にはどんなことでもできるのです。」

10:28 ペテロがイエスにこう言い出した。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。」

10:29 イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子ども、畑を捨てた者は、

@わたしの=わたしの（名の）ために

@マタイ 19:29）（ルカ 18:29）には福音の為に無い。

10:30 今この世で、迫害とともに、家、兄弟、姉妹、母、子ども、畑を百倍受け、来たるべき世で永遠のいのちを受けます。

10:35 ゼベダイの息子たち、ヤコブとヨハネが、イエスのところに来て言った。「先生。私たちが願うことをかなえていただきたいのです。」

@ヤコブヘロデに殺された（使徒 12:2）。

@ヨハネ、油で煮殺される寸前で奇跡的に助かり後にパトモス島に島流しになる。

マル 10:38 しかし、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、自分が何を求めているのか分かっていません。わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けることができますか。」

10:39 彼らは「できます」と言った。そこで、イエスは言われた。「確かにあなたがたは、わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けることになります。」

10:47 彼は、ナザレのイエスがおられると聞いて、「ダビデの子のイエス様、私をあわれんでください」と叫び始めた。

10:48 多くの人たちが彼を黙らせようとたしなめたが、「ダビデの子よ、私をあわれんでください」と、ますます叫んだ。

@人々はイエスをナザレ人 (=ヨセフの子) と呼んだが、バルテマイはダビデの子 (来るべきメシア) と呼んだ。

。
 10:50 その人は上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエスのところに来た。

@その人=(改 2)盲人

@盲人なのに上着を再び探ることが出来ないにもかかわらず投げ捨てた。

10:51 イエスは彼に言われた。「わたしに何をしてほしいのですか。」すると、その目の見えない人は言った。「先生、目が見えるようにしてください。」

10:52 そこでイエスは言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救いました。」すると、すぐに彼は見えるようになり、道を進むイエスについて行った。

救いました = ◀ 4982. Sózó(ソゾ) 108 回 ▶ 救う、癒す、保存する、救助する

- 1、聞くと = われわれはキリストについて聞いたので求めた (10:47)
- 2、哀れんでください = あわれみによってキリストの元に (10:47)
- 3、黙らせようと = 抵抗の中でキリストへ (10:48)
- 4、呼んできなさい = 御霊の導きで主のもとへ (10:49)
- 5、盲人は = ありのまま主の元へ (10:50)
- 6、脱ぎ捨てて = すべてを捨てて主の元へ (10:50)

7、何をしてほしいのか=人は仲介者であるが故、表現することを主は求めている。(10:51)

8、表現する= 、それを表現する事 (10:51)

9、信仰= (10:52)

9、そして従順によってついていく。(10:52)

@癒された人のすべての名前が記録されているわけではありませんが、バルテマイは記録された

彼は多分初代教会でもちいられていたであろう。

マル 11:2 「向こうの村へ行きなさい。村に入るとすぐ、まだだれも乗ったことのない子ろばが、つながれているのに気がつくでしょう。それをほどいて、引いて来なさい。

乗った= ◀ 2523. kathizó (カティゾ) 46回 ▶ 座る

すと、彼らは許してくれた。

11:7 それで、子ろばをイエスのところに引いて行き、自分たちの上着をその上に掛けた。イエスはそれに乗られた。

@ろばと子ろば(マタ 21:7)

11:12 翌日、彼らがベタニアを出たとき、イエスは空腹を覚えられた。

◀ 963. Béthania(ベセナイア) 12回 ▶ 村の名前。意味：悩む者の家、または、デーツの家

11:13 葉の茂ったいちじくの木が遠くに見えたので、その木に何かあるかどうか見に行かれたが、そこに来てみると、葉のほかには何も見つからなかった。

いちじくのなる季節ではなかったからである。

11:15 こうして彼らはエルサレムに着いた。イエスは宮に入り、その中で売り買いしている者たちを追い出し始め、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒された。

@この話はイチヂクの話の間に入っているが偶然ではない。

11:17 そして、人々に教えて言われた。「『わたしの家は、あらゆる民の祈りの家と呼ばれる』と書いてあるではないか。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣』にしてしまった。」

民 = ◀ 1484. Ethnos(エスノス) 163回 ▶ 種族、民族、異邦人 (改2)国民
ほとんどは異邦人と訳されるが、ごくまれにユダヤ人も含んだ意味での「民」である。

この御言葉の引用元はイザヤ 56:7 「わたしの聖なる山に来させて、わたしの祈りの家で彼らを楽しませる。彼らの全焼のささげ物やいけにえは、わたしの祭壇の上で受け入れられる。なぜならわたしの家は、あらゆる民の祈りの家と呼ばれるからだ。」

民の = ◀ 5971. am 1868回 ▶ 民 ha.am.mim (העמים) =ユダヤ人を含む

異教徒は ◀ 1482. Ethnikos(エスニコース) 4回 ▶

11:22 イエスは弟子たちに答えられた。「神を信じなさい」。

神を信じなさい = 神の信仰を持ちなさい = (Echete pistin theou) =
have faith of God

◀ 2192. Echó(エホ) 711 回▶持つ、所有する。◀ 4102. Pistis(ピスティス) 243 回▶信仰。

◀ 2316. Theos(セオース)1327 回▶

11:23 まことに、あなたがたに言います。この^山に向かい、『立ち上がって、海に入れ』と言い、心の中で疑わずに、自分の言ったとおりにになると信じる者には、そのとおりになります。

@山=問題

11:24 ですから、あなたがたに言います。あなたがたが祈り求めるものは何でも、すでに得たと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。

11:25 また、祈るために立ち上がる時、だれかに対し恨んでいることがあるなら、赦しなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの過ちを赦してくださいませ。」

- 1、苦い思いは他の人をだめにする（ヘブル 12 : 15）芽を出し汚す
- 2、苦い思いは成長する（2サム 13 : 22）
- 3、悪魔に機会を与える（エペソ 4 : 27）
- 4、自分を赦せない（マタイ 18 : 24）
- 5、苦味は見方を変えてしまう
- 6、integridad を失う、（ヤコブ : ）
サウルは王の祭司を殺した（1サム 22 : 16）
- 7、悪い決心をする（ヨハネ 12 : 4）ユダの裏切り
- 8、悪い霊にやられる（1サム 18:10）

11:28 こう言った。「何の権威によって、これらのことをしているのですか。だれがあなたに、これらのことをする権威を授けたのですか。」

11:29 イエスは彼らに言われた。「わたしも一言尋ねましょう。それに答えなさい。そうしたら、何の権威によってこれらのことをしているのか、わたしも言いましょう。

11:30 ヨハネのバプテスマは、天から来たのですか、それとも人から出たのですか。わたしに答えなさい。」

11:31 すると、彼らは論じ合った。「もし、天から来たと言え、それならなぜ、ヨハネを信じなかったのかと言うだろう。

12:18 また、復活はないと言っているサドカイ人たちが、イエスのところに来て質問した。

12:19 「先生、モーセは私たちのためにこう書いています。『もし、ある人の兄が死んで妻を後に残し、子を残さなかった場合、その弟が兄嫁を妻にして、兄のために子孫を起ささなければならない。』

12:20 さて、七人の兄弟がいました。長男が妻を迎えましたが、死んで子孫を残しませんでした。

12:21 次男が兄嫁を妻にしましたが、やはり死んで子孫を残しませんでした。三男も同様でした。

12:22 こうして、七人とも子孫を残しませんでした。最後に、その妻も死にました。

12:23 復活の際、彼らがよみがえるとき、彼女は彼らのうちのだれの妻になるのでしょうか。七人とも彼女を妻にしたのですが。」

12:24 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、聖書も神の力も知らないの、そのために思い違いをしているのではありませんか。

12:25 死人の中からよみがえるときには、人はめとることも嫁ぐこともなく、天の御使いたちのようです。

12:26 死人がよみがえることについては、モーセの書にある柴の箇所、神がモーセにどう語られたか、あなたがたは読んだことがないのですか。『わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』とあります。

12:27 神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神です。あなたがたは大変な思い違いをしています。」

12:30

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

12:31

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

12:33

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

12:44 皆はあり余る中から投げ入れたのに、この人は乏しい中から、持っているすべてを、生きる手立てのすべてを投げ入れたのですから。」

13:10 まず福音が、すべての民族に宣べ伝えられなければなりません。

- 1、惑わし
- 2、戦争
- 3、ハイテク
- 4、人の移動
- 5、飢え
- 6、疫病
- 7、暴動（創世記 6 : 7）地は暴虐で満ちていた
- 8、不法
- 9、迫害
- 10、世界宣教
- 11、聖霊の訪れ（： 1 1）
- 12、家庭の崩壊（： 1 2）

- 1 3、環境破壊
- 1 4、星が落ちる
- 1 5、イスラエルの回復

13:15 屋上にいる人は、家から何かを持ち出そうと、下に降りたり、中に入ったりしてはいけません。

13:16 畑にいる人は、上着を取りに戻ってはいけません。

14:3 さて、イエスがベタニアで、ツアラアトに冒された人シモンの家におられたときのことである。食事をしておられると(2621)、ある女の人が、純粋で非常に高価なナルド油の入った小さな壺を持って来て、その壺を割り、イエスの頭に注いだ。

食事をしておられると = ◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12 回 ▶ (大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

14:5 この香油なら、三百デナリ以上に売れて、貧しい人たちに施しができたのに。」そして、彼女を厳しく責めた。

厳しく責めた = ◀ 1690. embrimaomai (エンブレマオマイ) 5 回 ▶ 怒りに動かされる、厳しく戒める

マタ 9:30 すると、彼らの目が開いた。イエスは彼らに厳しく命じて、「だれにも知られないように気をつけなさい」と言われた。

マル 1:43 イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。

マル 14:5 この香油なら、三百デナリ以上に売れて、貧しい人たちに

施しができたのに。」そして、彼女を厳しく責めた。

ヨハ 11:33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になった。そして、霊に憤りを覚え、心を騒がせて、

ヨハ 11:38 イエスは再び心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。墓は洞穴で、石が置かれてふさがれていた。

@ 「心のうち」は補足

14:6 すると、イエスは言われた。「彼女を、するまますべておきなさい。なぜ困らせるのですか。わたしのために、良いことをしてくれました。」

14:18 そして、彼らが席に着いて(345)食事をしているとき、イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。あなたがたのうちの一人で、わたしと一緒に食事をしている者が、わたしを裏切ります。」

席に着いて = ◀ 345. anakeimai (アナケマイ) 14 回 ▶ 食卓に着く、←の意味で横になる(ヨハ 13:23)

マル 14:26 そして、賛美の歌を歌ってから、皆でオリーブ山へ出かけた。

◀ 5214. Humneó (フ m ネオ) 4 回 ▶ (V)歌う、賛美を歌う

14:33 そして、ペテロ、ヤコブ、ヨハネと一緒に連れて行かれた。イエスは深く悩み、もだえ始め、

もだえる = ◀ 85. Adémoneó (アデマネオ) 3 回 ▶ 感じる、恐れる、元気を失う、苦しむ

マタ 26:37 そして、ペテロとゼバダイの子二人と一緒に連れて行かれたが、イエスは悲しみもだえ始められた。

ピリ 2:26 彼はあなたがたみなを慕っており、自分が病気になったことがあなたがたに伝わったことを、気にしているからです。

14:34 彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここにいて、目を覚ましていなさい。」

@わたしは悲しみのあまり死ぬほどです=イエスも苦しみを友に伝えた

14:38 誘惑に陥らないように、目を覚まして祈っていなさい。霊は燃えていても肉は弱いのです。」

肉=◀ 4561. sarx (サルクス) 149回▶体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

14:44

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

15:19 マル 15:19 また、葦の棒でイエスの頭をたたき、唾をかけ、ひざまずいて 拝んだ。

ひざまずいて=◀ 1119. gonu (ガヌー) 12回▶(N) ひざまづき

拝んだ=◀ 4352. proskuneó (プロスクネーオ) 60回▶(一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する

(NAS) kneeling and bowing before Him

15:27 (本文欠如) (TR)こうして『この人は不法な者たちとともに数えられた』とある聖書が実現したのである。

ルカ 22:37 あなたがたに言いますが、『彼は不法な者たちとともに
数えられた』と書かれていること、それがわたしに必ず実現します。
わたしに関わることは実現するのです。』

15:39 イエスの正面に立っていた百人隊長は、イエスがこのように★息を引き
取られたのを見て言った。「この方は本当に神の子であった。」

★=叫んで (TR)叫んで息を引き取られた。

16:1 さて、安息日が終わったので、マグダラのマリアとヤコブの母マリアと
サロメは、イエスに油を塗りに行こうと思い、香料を買った。

マグダラ=塔のいみ

サロメ=平和 peaceful に意味 (ソロモンの女性形)。

16:3 彼女たちは、「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるでしょうか」と
話し合っていた。

16:4 ところが、目を上げると、その石が転がしてあるのが見えた。石は非常
に大きかった。

転がす= ◀ 617. apokulió 3 回 ▶ 転がす、roll away、使用箇所はキリストの墓
の石のみ

ヨシュア 5:9 【主】はヨシュアに告げられた。「今日、わたしはエジ
プトの恥辱をあなたがたから取り除いた。」それで、その場所の名は
ギルガルと呼ばれた。今日もそうである。

ギルガル= ◀ 1537. (גלגל) Gilgal 41 回 ▶ (石を) 転がす、地名
語源は ◀ 1536. (גלגל) gilgal ▶ 車輪(イザヤ 28:28)

16:4 ところが、目を上げると、その石が転がしてあるのが見えた。石は非常に大きかった。

@転がして= (へ) ギルガル (ヨシュア 5 : 9)

16:6 青年は言った。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。

@よみがえられた=受動態

16:8 彼女たちは墓を出て、そこから逃げ去った。震え上がり、気も動転していたからである。そしてだれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。
〔彼女たちは、命じられたすべてのことを、ペテロとその仲間たちに短く伝えた。その後、イエスご自身が彼らを通して、きよく朽ちることのない永遠の救いの宣言を、日の昇るところから日の沈むところまで送られた。アーメン。〕

気も動転していた= ◀ 1611. Ekstasis (エクスタシス) 7 回 ▶

驚いた (マルコ 5:42) (使徒 3:10) 驚くべき(ルカ 5:26) 、夢心地になる(使徒 10:10)

気も動転する(マルコ 16:8)

16:14 その後イエスは、十一人が食卓に着いている(345)ところに現れ、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。よみがえられたイエスを見た人たちの言うことを、彼らが信じなかったからである。

食卓に着いている= ◀ 345. anakeimai (アナケマイ) 14 回 ▶ 食卓に着く、←の

意味で横になる(ヨハ 13:23)

16:15 それから、イエスは彼らに言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。

16:16 信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。

16:17 信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、**わたしの名**
によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、

@わたしの名によって

ルカ 10 : 17)

使徒 3 : 6)

ヨハネ 14 : 12)

使徒 4 : 12)

ピリピ 2 : 9)

16:18 その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされます。」

@手を置けば=主が手を置きなさいと言われたのだからそれに従うときに癒しが起こる

ハバクク 3:4) 輝きは光のよう。ひらめきはその手から放たれ、そこに力が隠されている。

16:19 主イエスは彼らに語った後、天に上げられ、神の右の座に着かれた。

16:20 弟子たちは出て行って、いたるところで福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしるしをもって、確かなものとされた。]